

1. 経営理念

私たちは、日常を支える公共交通機関として、安全・安心を何よりも優先するとともに、質の高いサービスの提供にチャレンジし続けることで、お客様と福岡のまちの笑顔と元気を運びます。

2. 施策・事業の推進

地下鉄長期ビジョンにおける目標の「お客様満足度100%」の達成に向け、各施策・事業を推進していきます。

① 安全・安心の確保

(1) 防犯対策の強化

リアルタイム車内防犯カメラの設置推進

- 車内犯罪の未然防止等のため、令和9年度までに全車両に導入予定

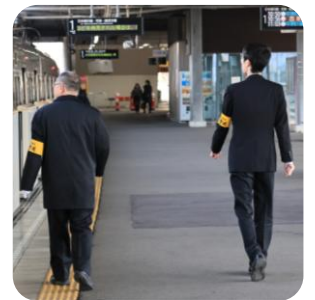
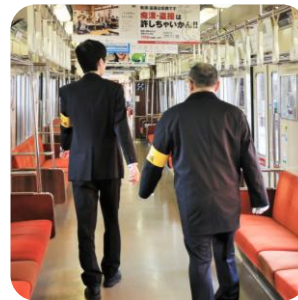


駅構内防犯カメラの設置推進

- エスカレーターの天井等へ、令和8年度までに約200台増設

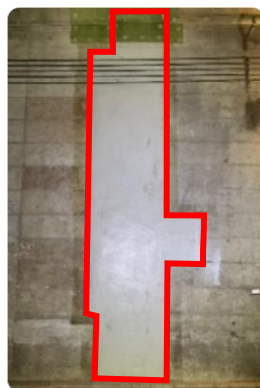
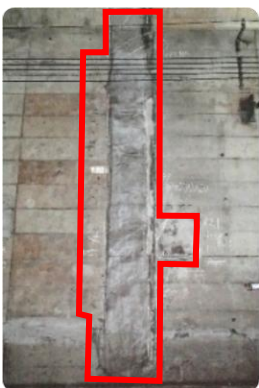
巡回警備の強化

- 県警OB職員による巡回に加え、民間警備会社を活用し、車内・駅構内の巡回警備を大幅に強化



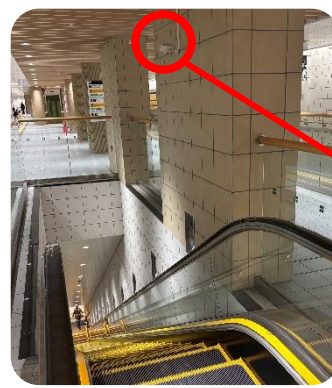
(2) 土木構造物補修等

- 計画的な補修工事の実施、保守用作業車の購入等、安全・安心の確保のための投資を実施
- 土木構造物の点検へのドローンの導入



(3) AI活用によるエスカレーター安全利用促進

- エスカレーターを歩く利用者や、片側利用をセンサー検知し、リアルタイムでの音声啓発による「歩かず2列利用」を促進



(4) 4000系車両の導入

- 令和9年度までに18編成を導入（令和7年度は5編成導入予定）
- 車両の状態をリアルタイムに情報管理する「車両情報監視システム」の本格運用を開始



② 誰もが利用しやすい環境づくり

(1) 車内優先スペースの改修

- 優先スペース改修車両を9→22編成に拡大
- 優先スペース等を示すホームドア案内サインを全駅に設置



車内優先スペース改修後



小さなお子さまや
こども連れを追加



ホームドア案内サインのイメージ

(2) みんながやさしい、みんなにやさしいサイン改良

- エレベーター優先利用案内サインを設置
(令和9年度までに全駅に設置完了)



エレベーター優先利用案内サイン(薬院駅)

- 路線誘導案内サインを拡充



路線誘導案内サイン(中洲川端駅コンコースのイメージ)

(3) 駅リフレッシュ

- 経年劣化の進む駅の壁面・トイレの内装等の改修を計画的に実施(工事3駅、設計4駅)
- 九大跡地のまちづくりの進捗に合わせて、貝塚駅のリニューアルを実施(設計)



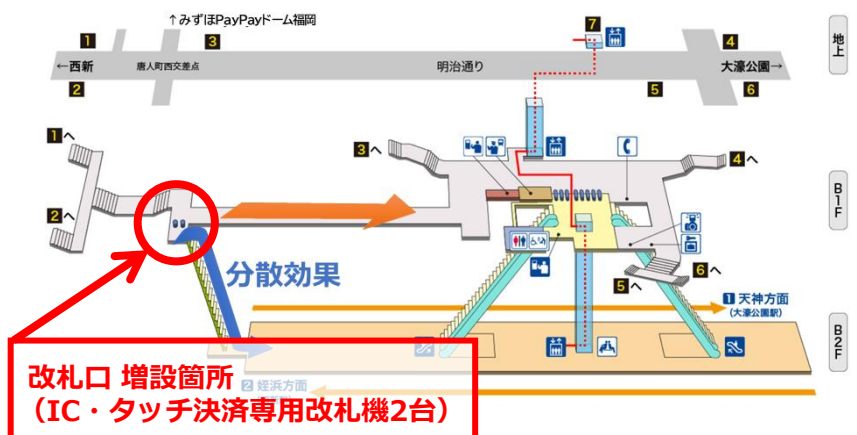
駅コンコース壁面改修



貝塚駅リニューアルイメージ(コンコース)

(4) ドームイベント時の混雑緩和

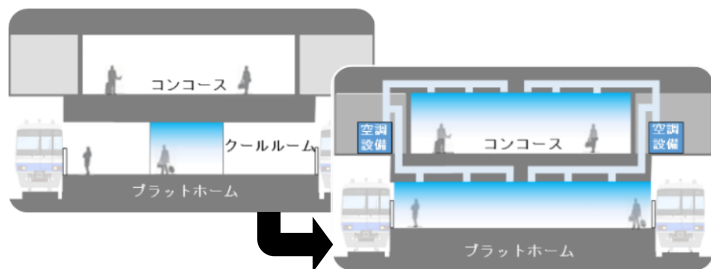
- 唐人町駅のコンコースからホームへの改札口を増設
(入場改札機7台→9台)
- 臨時列車の更なる増便
(ドームイベントの終演にあわせて運行。
運行本数が通常時の2倍に)



③ 魅力的な地下空間の創出

(1) 駅的全館冷房化

- 令和9年度までに全ての地下駅に全館冷房を導入
- 令和7年度は六本松駅への設置工事および全館冷房未導入の23駅の実施設計を実施



(2) 地下空間の緑化

- 天神・博多・福岡空港駅の改札口付近等に壁面等を利用した印象的な緑空間を創出



(3) 駅ナカ事業の強化

- 4月、天神駅東口にスターバックスオープン
- 秋頃、博多駅筑紫口に新店舗オープン



(4) 大型デジタルサイネージの導入

- 天神駅東口に大型デジサネを導入
- 博多駅筑紫口、天神南駅にもデジサネを設置



④ 脱炭素化の取組み

(1) 省エネ対策の推進(駅照明等のLED化)

- 七隈線の駅照明等について、令和9年度までにLED化を完了



駅照明のLED化



トンネル内照明のLED化



電照広告のLED化

(2) 再エネ由来電力の利用促進

- 令和7年度から、地下鉄で使用する電力の100%を再エネ由来電力に切替え
- 年間3.8万トンのCO2排出量を削減



(3) 庁用自動車のEV化

- 庁用自動車の更新時期に合わせ、順次電気自動車に切替え
- 令和7年度は4台切替予定
- (令和7年度末:EV化対象7台中5台をEV化完了)